

# 兵庫県水産技術センターだより

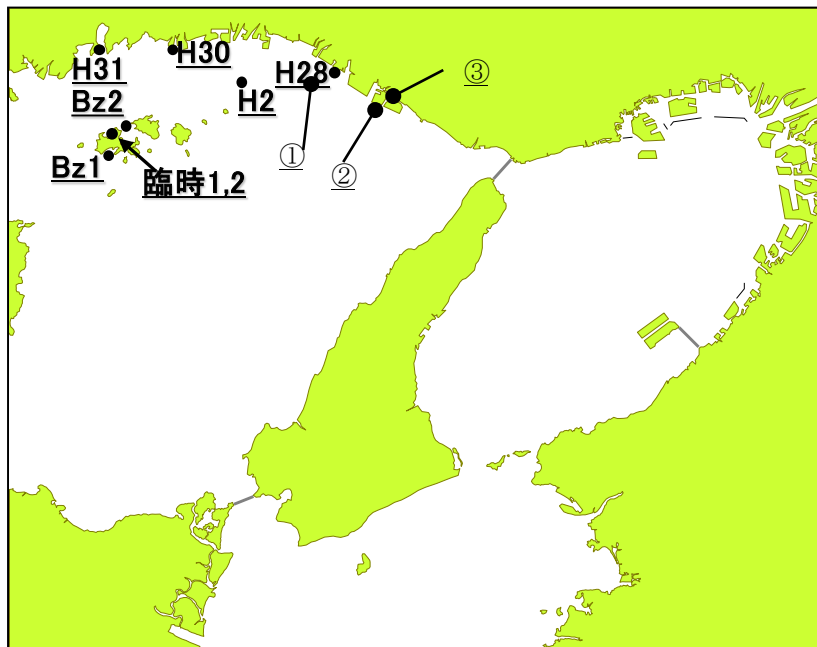
赤潮情報 AK-04-14号(播磨灘北部)

令和4年8月9日発行

8月8～9日に赤潮プランクトン調査(播磨灘北部:定期調査及び臨時調査)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・魚類を斃死させる有害赤潮プランクトン(カレニア・ミキモトイ)が増加し、警戒体制値を超えています。本種は中層で増殖したり、湾内や水路で高密度化することがあります。ご注意ください。
- ・着色域では活魚の運搬や畜養、漁船の航行に十分にご注意ください。また、高密度化した海域(港湾内等)では、赤潮消滅後の溶存酸素の低下(酸欠)にもご注意ください。



注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値	
注意体制:	10細胞/ml
警戒体制:	100細胞/ml
カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	
注意体制:	500細胞/ml
警戒体制:	5,000細胞/ml
ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	
注意体制:	50細胞/ml
警戒体制:	500細胞/ml

赤潮プランクトン調査結果(海水1ミリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカおよびマリーナ	シャットネラ・カバタ	シャットネラ・グロボサ	シャットネラ・ベルキウロサ	クロロディウム・ポリクリコイテス	ヘテロギム・アガオ
H2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0.7	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
H28	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0
	5	0	309	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	55.3	0	0	0	0	0	0
H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	310	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
H31	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
Bz1	0	0	0.7	0	0	0.7	0	0	0
	5	0	0	0	0	0.7	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
Bz2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時1 (西島北側・湾奥)	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3
	5	0	0	0	0	0.7	0	0	0
臨時2 (西島北側・湾口)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
①	0	0	1,900	0	0	0	0	0	0
②	0	0	316	0	0	0	0	0	0
③	0	0	6,200	0	0	0	0	0	0

【今後の調査予定】 次回は8月17日に定期調査(大阪湾、紀伊水道)を予定しています。調査結果がまとまり次第、「赤潮情報 AK-04-15号」として発行予定です。

§お問い合わせ先§ 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当:水産環境部 妹背、中桐)  
Tel: 078-941-8602 Fax: 078-941-8604 Homepage: <https://www.hyogo-suigi.jp/>